

製品名: NCX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14461**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	108kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC8A1
別名	SLC8A1; CNC; NCX1; Sodium/calcium exchanger 1; Na(+)/Ca(2+)-exchange protein 1
遺伝子 ID	6546.0
SwissProt ID	P32418
免疫原	NCX1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 270-350

背景

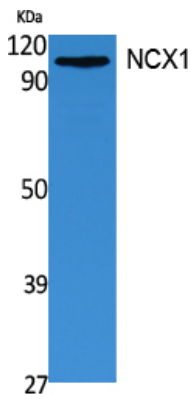
心筋細胞において、Ca(2+)濃度は収縮時に高濃度となり、弛緩時に低濃度となる。収縮時の Ca(2+)濃度の上昇は、主に細胞内ストアからの Ca(2+)の放出による。しかし、一部の Ca(2+)は筋鞘（細胞膜）を通して細胞内に侵入する。弛緩時、Ca(2+)は細胞内ストア

に隔離される。細胞内ストアの過負荷を防ぐため、筋鞘を通過して侵入した Ca^{2+} は細胞外に排出されなければならない。 Na^{+} - Ca^{2+} 交換輸送体は、弛緩時に Ca^{2+} を細胞外に排出する主要なメカニズムである。心臓において、この交換輸送体はジギタリス作用において重要な役割を果たしていると考えられる。交換輸送体は、興奮後に心筋細胞を静止状態に戻す主要なメカニズムである。[OMIM 提供、2004 年 4 月], 代替産物: 追加のアイソフォームが存在すると思われる, 酵素調節: ATP による。 , 機能: 興奮収縮関連中に Ca^{2+} を迅速に輸送する。 Ca^{2+} は、細胞内貯蔵庫の過負荷を防ぐために、弛緩中に細胞外に排出される。 , 類似性: ナトリウム / カリウム / カルシウム交換輸送体ファミリーに属する。SLC8 サブファミリー。 , 類似性: 2 つの Calx- β ドメインを含む。 , 組織特異性: 心臓筋形質膜

研究分野

カルシウム;心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);不整脈性右室心筋症 (ARVC);拡張型心筋症;

画像データ



NCX1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。